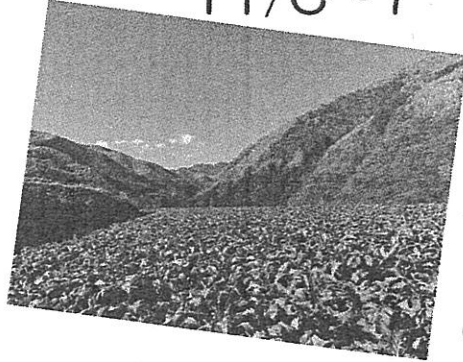


えんがわだより

第1号 2021.12.6発行
 発行者：奈川えんがわプロジェクト

11/6~7 保平かぶ収穫体験



畑一面 保平かぶ
 当日はとっても良い天気！
 地域の方々に挨拶をして、
 作業にとりかかります。
 (農学部 1年)

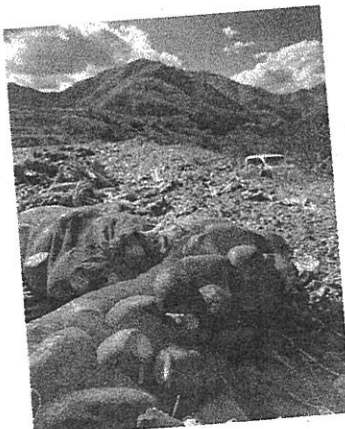
「保平かぶ」とは
 奈川の伝統野菜の
 赤カブ



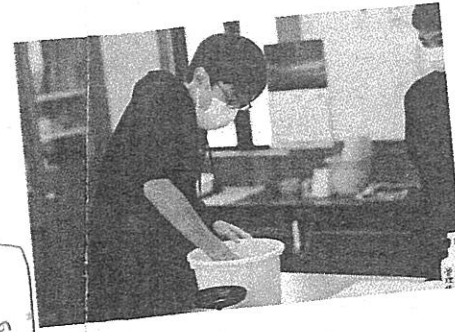
かぶを実際に取らせていただきました。
 为仕事は大変でした。市役所の2人も頑張ってます！
 (経済 2年)



取材もしさせて頂きました。初めての経験でしたが、奈川の良いところを伝えるために頑張りました。
 これから頑張ります。
 経済学部2年 隊長



青い空！赤いカブ！
 白い雲！おどりの山！
 全部最高でした。
 また遊びに行きます！
 (経済 2年)



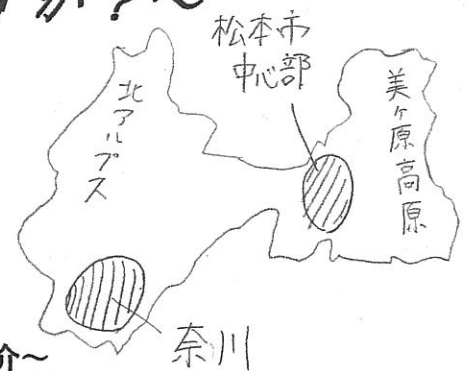
かぶを少し分けて頂き、自分たちで漬物にする体験をしました。後日、出来たものを食べ、おいしく仕上がっていました！
 (経済 2年)



奈川に長年住んでいらっしゃる忠地 愛子さんの貴重なお話を聞きました。
 農学部 1年

～奈川って知ってますか？～

松本市中心部から車で約1時間、標高1,000メートル以上の高地にある松本市奈川地区。人口は700人弱ですが、古くから野菜街道などが通る交通の要所で、獅子舞などの文化が今も受け継がれています。
 奈川にはとうじそばや保平かぶ、えごまなど伝統ある食べ物が多く、また、キャンプ場やスキー場などアスレチックを楽しむ場所としても人気です。
 最近では都市部から移住する人がいたり、クラインガルデンという滞在型市民農園に都市部から応募する人も多かったです、今アツい地区でもあります。

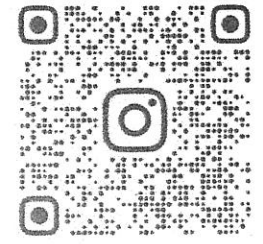


～奈川えんがわプロジェクトの紹介～

昨年度の松本市の寄付講義で奈川に興味を持った学生が主体となり、今年4月に発足しました。プロジェクトではこれまで現地で保平かぶの種干しや収穫、漬物の体験をしたり、地区の未来を考えるワークショップに参加するなど奈川の方々と関わりながら活動してきました。今後は、地元の人との交流を続け、奈川の歴史を勉強したり、魅力を発見したりして、それをSNSや紙媒体で積極的に発信していこうと思います。また、来年度は保平かぶを育て、収穫するまでの一連の作業を体験できたらなと考えています。

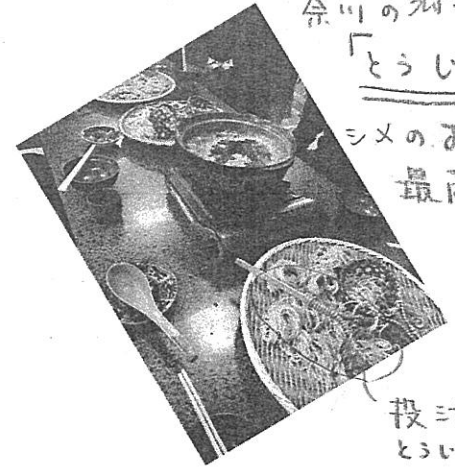
～参加してみよう～

「やっぱりいいとこだな」紅葉した山々を前にそう感じて始まった今回の収穫体験。大学ではなかなか体験できない非日常感を感じることができました。時には皆で円になってお茶をし、時には山を漠然と見ながら雄大な自然を感じまくりましたとき。また行きます！



奈川えんがわプロジェクトInstagram
 私たちの活動や奈川の魅力を発信しています！

奈川の郷土料理
 「とうじそば」!!
 シメのあいやまで最高です!!



農学部1年girl

投げ籠
 とらい